

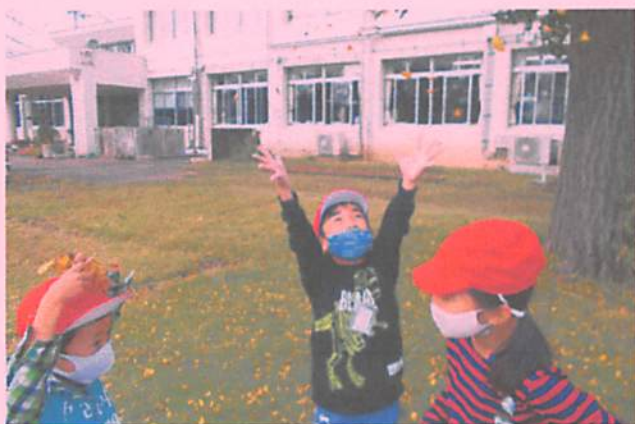
令和3年度

第71次印旛地区教育研究集会

生活科分科会 提案資料

研究主題

進んで表現し合い、気づきの質を高めるための生活科学習のあり方
～人とのかかわりやICT機器の活用を通して～



第4部会 八街市立二州小学校

小柎 悦子

小平 愛

1 研究主題

進んで表現し合い、気づきの質を高めるための生活科学習のあり方
～人とのかかわりやICT機器の活用を通して～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

生活科は、一人一人の児童の思いや願いを表現していく一連の学習活動を行うことにより、児童の自発性が発揮され、能動的に活動することを大切にしている。主体的で深い学びを児童が学ぶ過程の中核にある働きとして捉えることの重要性が示されている。生活科の目標は次の通りである。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指す。

(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(知識及び技能の基礎)

(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等の基礎)

(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

生活科では、具体的な活動や体験を通して、関わる対象への気づきが生まれることが大切である。気づきの質を高めるには、気付いたことを伝えたり、交流したり、振り返って捉え直したりして表現することが大切である。多様な方法によって表現することにより、無自覚な気づきが自覚的になったり、ばらばらのように思えた気づきに関連付いたりする。気づきの高まりは、満足感、成就感、自信、やり甲斐、一体感などの手応えとなり、次の体験への安定的で持続的な意欲につながっていく。生活科においては、気づきの質の高まりが深い学びであると捉えることができる。「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かした学習活動が充実することで、気付いたことを基に考え、新たな気づきを生み出し関係的な気づきを獲得するなどの深い学びを実現することができる。

以上のことから、児童が自分の思いや願いをもって、進んで表現し合う活動を通して、気づきの質を高めていきたいと考えた。

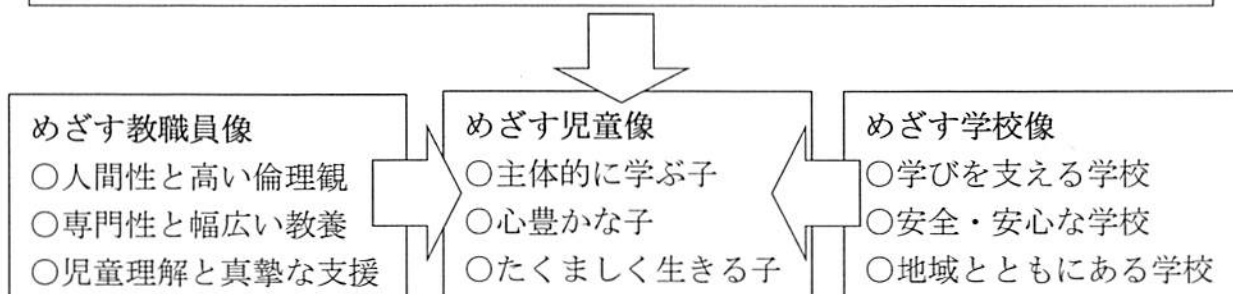
(2) 学校教育目標から

<学校教育目標>

夢を抱き 自らを高めていこうとする児童の育成

～一步一步 未来へ 世界へ～

「自分のなりたい姿」「かなえたい目標」に向けて自分自身を成長させようとする意欲と行動力を育むとともに、未来の国際社会の担い手として必要な資質・能力の育成を図る。



生活科における児童の思いや願いを表現していく学習活動は、めざす児童像の「主体的に学ぶ子」を実現することに繋がる。多くの人とかかわり、多様な方法で表現し、伝え合う中で気付きの質を高めていくことが大切だと考える。

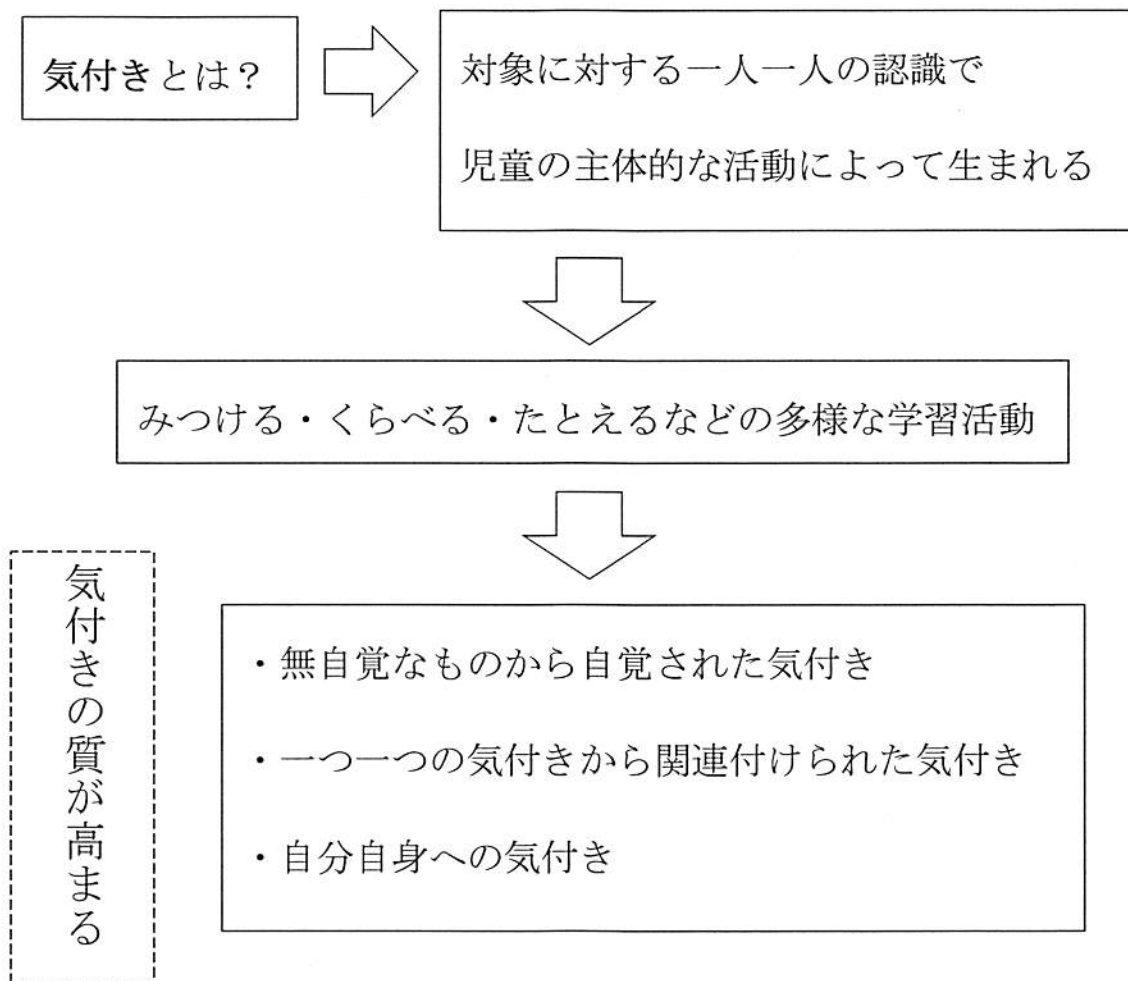
二州小は、平成31年度から八街市の指定を受け、「グローバル人材の育成」という研究主題で研究に取り組んでいる。令和2年度は、ICT機器を有効活用した授業のあり方やコミュニケーション能力の向上を目指した授業づくりを進めてきた。低学年では、生活科の学習において、授業のねらいを明確にしたICT機器の活用や、自分の考えを進んで表現し合う児童の育成を目指して研究を進めている。

(3) 児童の実態から

二州小は、印旛地区において唯一分校がある学校である。八街市の南に位置し、学区は広く、畑と森林の多い自然豊かな地域である。児童の家庭は、三世同居の家庭が比較的多い。少子化に伴い、児童数は減ってきているが、地域の協力者が多く、教育後援会が学校の活動を支援してくださっている。本年度の児童数は、本校97名、分校19名、全校で116名である。分校には1～4年生の児童が在籍しており、5年生からは本校への通学となる。本校と分校の児童は、学校行事や交流学習などで、年に数回一緒に活動をするようにしてきた。今年度からは、合同学習日を設定し、分校児童が一日本校で過ごし、本校の児童との交流を深められるようにしている。

二州小の児童は、全体的に明るく素直であり、学習や自分のやる活動にまじめに取り組むことができる。学習面では、体を動かすことを伴う活動に大変意欲が見られるが、思考力や表現力には課題が見られる。少人数であれば自分の意見を言うことはできるが、大きな集団の中では自信がなくなってしまう、固まってしまう児童もいる。少人数の中では伝え合うことに限界があり、意見の広がりが見られないという状況もある。そこで、他学年や地域の人たちなど、人とのかわりの場を意識的に設定し、一緒に活動したり体験したりすることで、進んで表現しようとする意欲に繋がりたいと考えた。また、生活科の学習で気付きの質を高めていくことは、思考力・表現力を育てることに繋がると考え、本主題を設定した。

3 「気付きの質を高める」について



<気付きの質を高めるには>

振り返り表現する機会を設ける

- ・活動や体験したことを言葉などによって振り返らせる。

伝え合い交流する場を工夫する

- ・体験したことや調べたことを互いに伝え合い交流させる。気付きを共有し、全体に高める。

試行錯誤や繰り返す活動を設定する

- ・繰り返し自然現象とかかわったり、試行錯誤して何度も挑戦させたりする。

児童の多様性を生かす

- ・互いにかかわり合う状況を設定し、他の児童との共通点や相違点を見付けさせる。

多様な学習活動を充実させるとともに、児童の気付きを高める教師の働きかけや言葉かけを工夫していくことが求められる。

4 研究仮説

<仮説1>

人とかかわりの場を設定し、多様な方法で表現し合うことができれば、互いの考えの良さを認め合いながら活動ができるだろう。

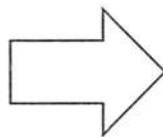
<仮説1の手立て>

① 交流活動の場を設定する

本校の1・2年 分校の1・2年での交流（学校探検など）→R2年度は一部実施
本校と分校の同学年での交流（町探検 昔遊びなど）→R2年度はリモートで一部交流
他学年の児童との交流（あきとなかよし）→R2年度は感染防止対策をして実施
保育園の友達との交流（年2回のなかよしの会）→R2年度は中止
地域の人や保護者と一緒の活動（栽培活動 町探検 昔遊び 自分はっけん）→R2年度は中止
※R3年度の交流は、感染防止対策をしながらできる範囲で実施している。

② 多様な表現方法で伝え合う

言葉で伝える
絵や文で表現する
ICT機器を使う
物を作って表す
実際に行動する



・グループ活動で一緒に活動し伝え合う
・みんなの前で発表し合う
・書いた物や作った物を掲示して紹介し合う

③ 振り返りの工夫→互いの良さを認め合う

振り返りカードで自分の発見や気付いたことを言葉で書き、振り返る。
友達の良いところをカードに書いたり、言葉で伝えたりして認め合う。
書いたことを発表し合い、友達や自分の良さに気付けるようにする。

<仮説2>

ICT機器や教材を工夫して活用すれば、児童が自ら考えて活動することができ、気付きの質を高めることができるだろう。

<仮説2の手立て>

① ICT機器（タブレット）の活用

導入の場面で活用し、学習の見通しをもたせ、意欲に繋げる。
児童が意欲的に活動するための教材・資料として活用する。
児童が画像や映像を撮り、活動の記録とする。
確かめたり、振り返ったりする時に活用する。
発表する時に活用する。

② 教材の工夫

学習や児童の実態に合った学習カードを使用する。

5 実践例（1年）

(1) 単元名 あきとなかよし ～あきとあそぼう～

(2) 単元の構想



(3) 単元の目標

- ・ 夏から秋にかけての自然や町の様子の変化，季節によって生活の様子が変わること気付くことができる。
(知識及び技能の基礎)
- ・ 秋の自然を使って，工夫して作品を作ったり遊んだりすることができる。
(思考力，判断力，表現力等の基礎)
- ・ 秋の自然や町とかかわる活動を通して，生活を楽しくしようとする。
(学びに向かう力，人間性等)

(4) 仮説との関わり

<仮説1>

人とかかわりの場を設定し，多様な方法で表現し合うことができれば，互いの考えの良さを認め合いながら活動ができるだろう。

① 交流活動の場の設定

- ・ 録画を作成して交流→「見つけた秋」の録画を作成し，本校と分校でお互いに見ることで，いろいろな秋に気付けるようにした。
- ・ 作った物で他の学年と遊ぶ交流→本校の児童は2年生を，分校の児童は2～4年生を招待する計画を立てた。相手に楽しんでもらえるようにという目的をもって準備に取り組み，進んで活動することができた。
- ・ 本校と分校での交流→ICT機器を使ってリモートで「秋の思い出」を伝え合う場を設定した。相手意識をもつことは，伝える意欲に繋がった。

② 多様な表現方法

- ・ 作品を作る
- ・ 絵や文章で伝える
- ・ 言葉で伝える
- ・ 写真や動画で伝える

③ 振り返りの工夫

- ・ 振り返りカード

<仮説2>

ICT機器や教材を工夫して活用すれば，児童が自ら考えて活動することができ，気付きの質を高めることができるだろう。

① ICT機器の活用




- ・ 「見つけた秋」をタブレットで撮る→自分が見つけた秋を写真に撮り，「見つけたよカード」を書いた。画像で保存し，確かめたり振り返ったりするときに活用した。
- ・ 資料として活用→友達が作ったものを写真や動画で紹介する映像を見せ，自分が作りたい物のイメージを膨らませるようにした。
- ・ リモートでの交流→タブレットを活用して，本校と分校での交流をした。離れた場所の友達に映像を通して「秋の思い出」を伝えた。

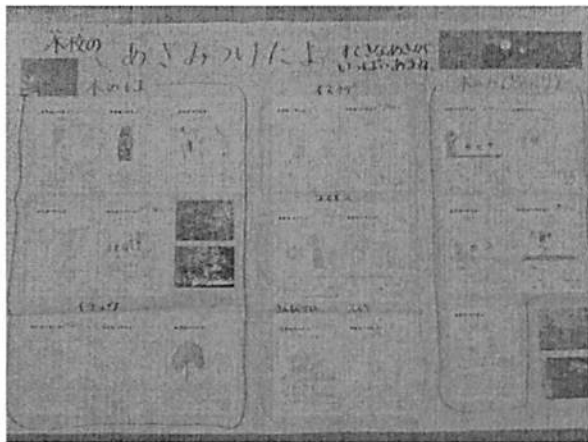
② 教材の工夫

- ・ 児童の実態や学習の内容に合わせた学習カード

(5) 実践記録

小単元 あきとあそぼう (18時間扱い)

時 数	・学習活動と内容	◎評価 ☆仮説との関連
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> こうていのあきを見つけよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・秋になると、どんなことがあるか話し合う。 ・校庭では、どんな秋が見つかりそうか話し合い、探しに行く計画を立てる。 	<p>◎夏のころと校庭や町の様子が違うことに気付いている。(知識・技能)【発言・記録】</p> <p>◎身近な秋を進んで見つけようとしている。 (主体的に取り組む態度)</p> <p style="text-align: right;">【行動・つぶやき】</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 見つけたあきをみんなにつたえよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭の秋を見つけたり、感じたりして、写真を撮る。 ・「見つけたよカード」を書く。 ・本校と分校で「見つけた秋」のビデオを撮り、紹介し合う。 <div style="margin-top: 20px;">  </div> <div style="margin-top: 20px;">  </div>	<p>☆タブレットを使って写真を撮って保存した。「見つけたよカード」を書くときに活用することができた。(仮説2・手立て①)</p> <p>☆「見つけた秋」を紹介するビデオを撮り、本校と分校でお互いに見るようにした。いろいろな秋に気付くことができた。 (仮説1・手立て①②) (仮説2・手立て①)</p> <div style="margin-top: 20px;">  </div>



◎紅葉の美しさや秋風の心地よさ、色や形、大きさなどの違う木の実や木の葉があることに気付いている。

(知識・技能)【発言・記録】

◎諸感覚を使って、自分なりに秋を感じようとしている。

(主体的に取り組む態度)

【行動・つぶやき】

あつめたおちばや木のみをつかってあそぼう

2

- ・見つけた秋で、もっとしてみたいことを発表し合う。
- ・落ち葉・木の実・草花などを使って遊ぶ。
- ・遊んだことを振り返り、カードに書く。

まっぼっくりをならべよう。
プールみたいだね。



☆落ち葉・木の実・草花などを使ってできることを考え、友達と関わり合いながら、活動できるようにした。いろいろな発見をしながら、楽しく遊ぶことができた。

(仮説1・手立て①②)

なにをつくる？どんぐりを
ならべるのたのしいね。



◎いろいろな色や形、大きさの葉や実があることに気付いている。

(知識・技能)【発言・記録】

◎諸感覚を使って見つけた秋を、比べたり、たとえたり、言葉で表現したりしている。

(思考・判断・表現)【発言・記録】

あそぶものやかざるものをくふうしてつくりよう

5

- ・集めた落ち葉や木の実を使って作りたいものを話し合う。
- ・集めてきたものを使って、いろいろなものを工夫して作る。
- ・友達と見せ合ったり教え合ったりしながら、さらに工夫を加えていく。
- ・自分たちが作った物を使って、みんなで遊ぶ。
- ・自分が作って楽しかったこと、友達の良かったところなどをカードに書き、伝え合う。

1組の友達が作りました。
何だと思う？



あっ、どんぐりごまだ。
どうやって作ったのかな。



マラカスを作りたいな。
テープでとめるといいの
かな。

☆導入で、2年生が昨年度作ったものを紹介する映像を見せた。作りたい物のイメージを持つことができた。 (仮説2・手立て①)
☆作品を作る過程では、比べたり・繰り返したり・試したりと試行錯誤をしながら取り組む時間を確保した。友達と関わりながら、作ったり遊んだりすることを通して、気付いたことを伝え合い、新しい発見をしながら、活動することができた。

(仮説1・手立て①②)

けん玉をつくりよう。2ついっ
しょに入るようにするには、
どうしたらいいかな。



◎思いや願いをもって、遊びや遊びに使うものを粘り強く作ろうとしている。

(主体的に取り組む態度)

【行動・発言】

◎安全な道具の使い方がわかっている。

(知識・技能) 【行動】

◎みんなで楽しむことのできる約束やルールなどを考え、遊びを創り出している。

(思考・判断・表現) 【行動・作品】

ともだちをしょうたいして、あきでたのしくあそぼう

6

- ・落ち葉や木の実を使って作った物で、他の学年の友達と遊ぶ計画を立てる。
- ・本校では2年生を、分校では2～4年生を招待することに決め、上級生に楽しんでもらえるように準備をする。
- ・係や分担について話し合い、準備をする。
- ・自分たちの作ったものの説明をしながら、一緒に楽しく遊ぶ会を行う。
- ・一緒に遊んで楽しかったことをカードに書く。

玉入れです。
このせんからなげます。



いろいろなけん玉が
ありますよ。

☆他の学年の友達を招待して、自分たちの作ったもので交流する活動を設定した。相手に楽しんでもらえるようにという目的をもって準備した。一緒に楽しく遊ぶことを通して、遊び方の新しい発見をしたり、友達の良さに気付いたりすることができた。

(仮説1・手立て①)

くじびきです。
あたりがでると
いいですね。



どんぐりめいろです。
スタートはここですよ。



◎友達と一緒に楽しく遊ぼうとしている。

(主体的に取り組む態度)

【行動・つぶやき】

◎友達の立場になって考え、遊びの準備をしている。

(思考・判断・表現) 【行動・発言】

・本校と分校での交流学习を行い、「あきとあそぼう」の学習で楽しかったことを伝え合う。



分校のともだちはどんなことをしたのかな。



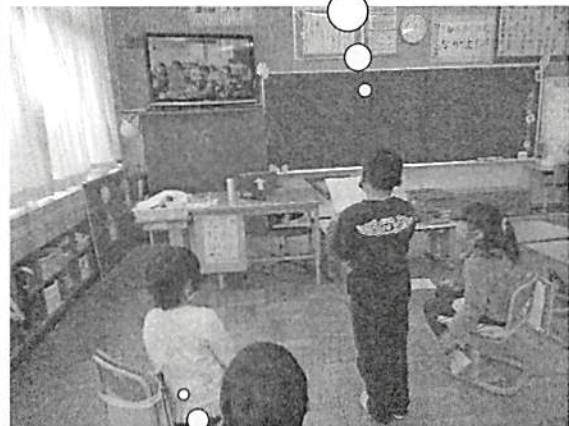
ぼくは、まつぼっくりでけん玉を作ったのがたのしかったです。

☆ICT機器を活用した交流活動を設定した。言葉と画像を通して、本校・分校それぞれの活動で楽しかったことを伝え合うようにした。学習を振り返り、自分の成長や友達の良さに気付くことができた。

(仮説1・手立て①②)

(仮説2・手立て①)

「あきとあそぼう」で、みんなとあそんでたのしかったです。



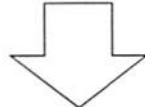
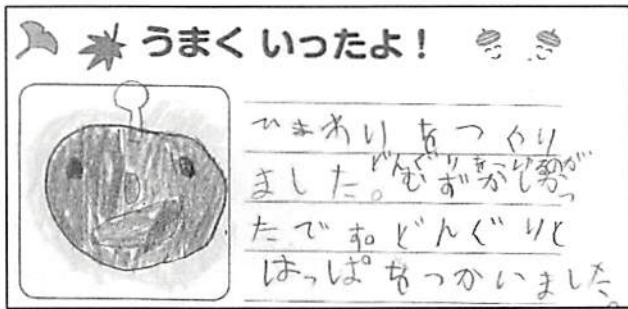
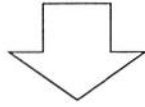
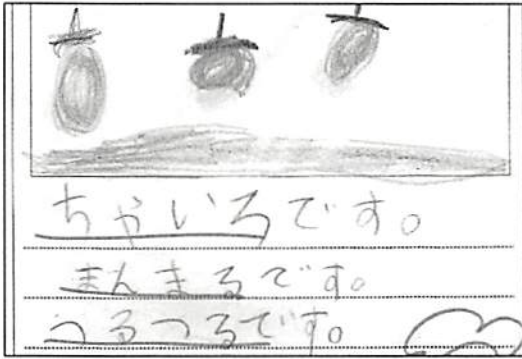
本校のともだちも聞いてくれているね。

◎友達に上手に説明できるようになった自分の成長に気付いている。

(知識・技能)【行動・記録】

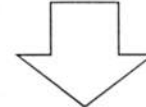
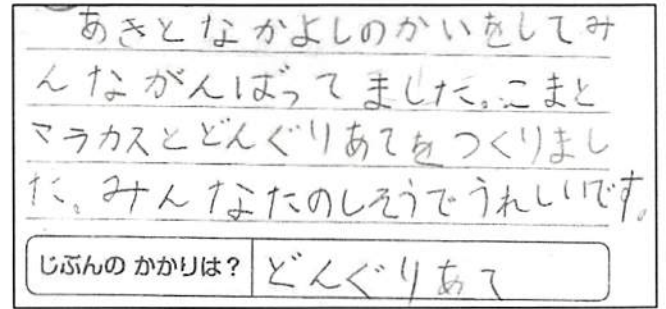
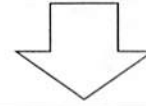
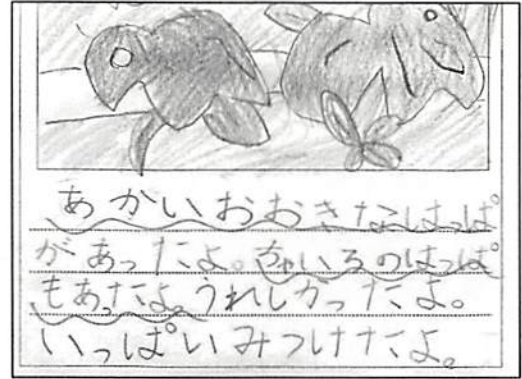
(6) 児童の変容

<A児>



☆たのしかったこと・気がついたこと
どんぐりやまつぼっくりでどんぐりころがしやまきりしました。6,3,2年やいとおそびました。おたのしいなといってくれうれしかった。まつぼっくりのちからげんがむすかおそびました。

<B児>



☆たのしかったこと・気がついたこと
いろいろなあきをみつけてたのしかた
たでマラカスは「きれい」な音がしてた
のしかた」とかいてくれうれしかった
です。まつぼっくりツリーもうまくつく
りました。ほんごうのビデオみて、こ
まがきれいにしてくれました。みて、よか
☆できたかな？ (◎・○・△) たです。

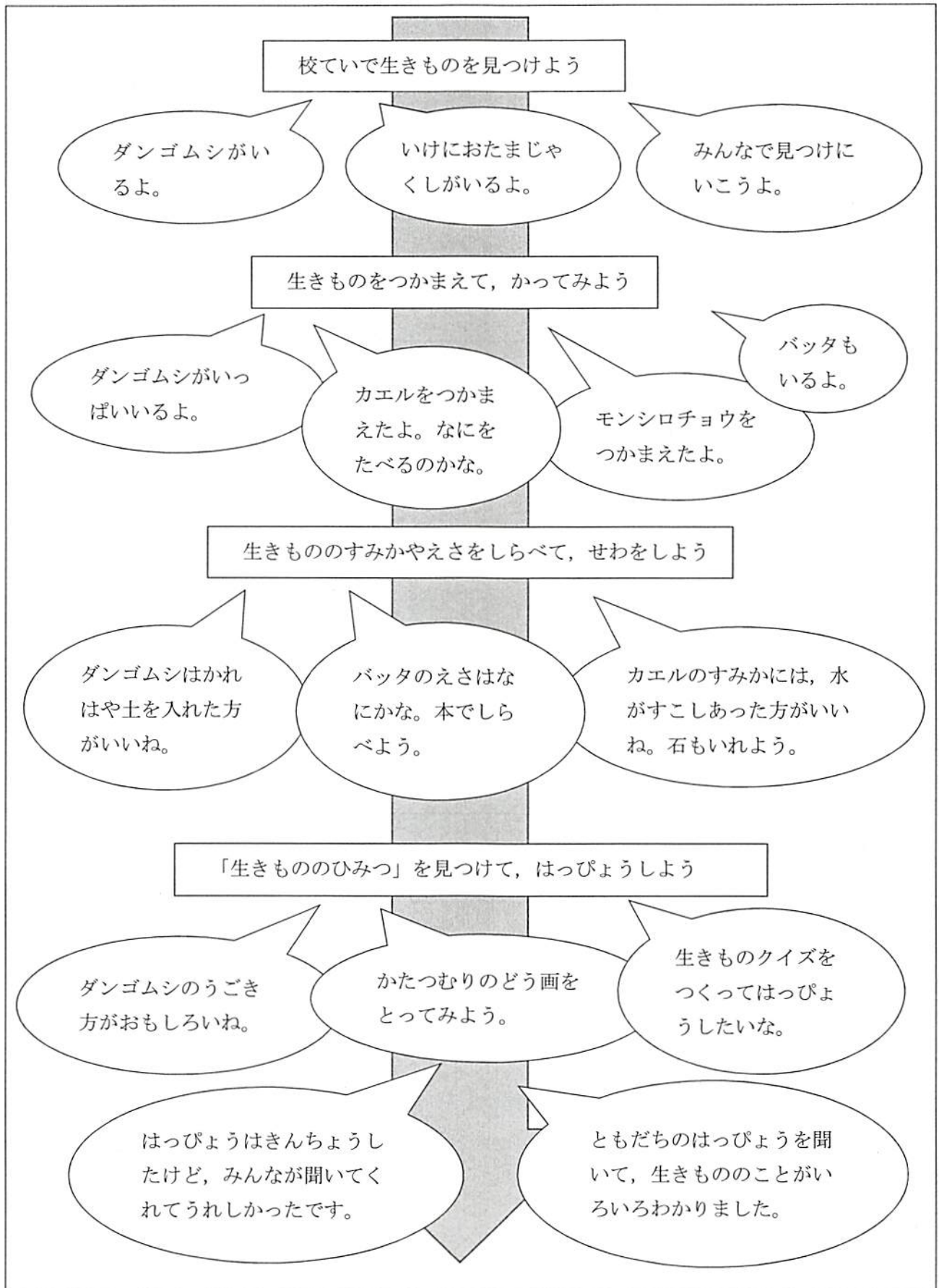
A児は、どんぐりの色や形、手ざわりで気が付いたことをカードに書いた。どんぐりと木の葉を使って飾る物を工夫して作り、ポンドでつける時は、うまくできた友達に聞きながら取り組んでいた。どんぐりやまつぼっくりを使って遊んだ時は、転がす時の力の入れ方が関係することに気付いた。みんなで遊ぶことの楽しさにも気付くことができた。

B児は、赤や茶色の葉っぱをいっぱい見つけた。木の実や木の葉を使って、こまやマラカス、どんぐりあてなど、いろいろな物を作り、友達と一緒に楽しむことができた。本校のビデオを見たことをもとに、自分でこまを作ることもできた。友達が言ってくれて嬉しかったことにも気づき、友達と交流する活動を通して、気づきを深めることができた。

6 実践例（2年）

(1) 単元名 生きもの はっけん ～生きているってすごい！～

(2) 単元の構想



(3) 単元の目標

- ・ 動植物は、生命をもっていることや成長していることに気付くことができる。
(知識及び技能の基礎)
- ・ 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができる。
(思考力, 判断力, 表現力等の基礎)
- ・ 1年生での飼育・栽培の経験を生かして、動植物に親しみ、大切にしようとする。
(学びに向かう力, 人間性等)

(4) 仮説との関わり

<仮説1>

人とのかかわりの場を設定し、多様な方法で表現し合うことができれば、互いの考えの良さを認め合いながら活動ができるだろう。

① 交流活動の場の設定

- ・ 1年生と交流→「生きもののひみつ」を1年生に発表した。
- ・ 本校と分校での交流→合同学習日にそれぞれが学習したことを発表し合った。

② 多様な表現方法

- ・ 絵や文章で伝える→発見カード
- ・ 実物を見せて言葉で伝える
- ・ 写真や動画で伝える

③ 振り返りの工夫

- ・ 振り返りカード

<仮説2>

I C T機器や教材を工夫して活用すれば、児童が自ら考えて活動することができ、気付きの質を高めることができるだろう。

① I C T機器の活用



- ・ 生きものをタブレット型P Cで撮る→画像で保存し、確かめたり振り返ったりするときに活用した。経過を観察するにも役立った。
- ・ 発表する時に活用→発表の内容にあわせて、写真や動画を活用した。飼育していた生きものが逃げてしまったり、亡くなってしまったりした児童もいたが、保存しておいた画像を活用して発表することができた。

② 教材の工夫

- ・ 発見カード→3種類用意し、自分の使いやすいカードを選んで使えるようにした。

(5) 実践記録

小単元 生きているってすごい! (10時間扱い)

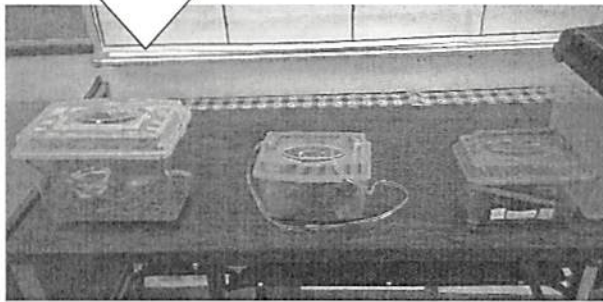
時 数	・学習活動と内容	◎評価 ☆仮説との関連
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">校庭いで生きものを見つけよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の居場所について知っていることを教え合う。 ・捕まえる生き物や場所について考え、生き物探しの計画を立てる。 	<p>◎自分が探したい生き物を決め、採集の準備をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</p> <p>◎生き物によって、生息している場所や環境が違っていることに気付いている。 (知識・技能)【発言・記録】</p>
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">生きものをつかまえて、かってみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物探しに行く準備をして、探しに行く。 ・友達と協力しながら、生き物を捕まえる。 ・捕まえた生き物をどうするか話し合う。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: 100px;"> <p>あっ、見つけた。チョウ チョをつかまえるぞ。</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: 100px;"> <p>バッタをつかまえたよ。 虫かごに入れよう。</p> </div>	<p>☆校庭で生き物探しをする時間を確保した。 友達と情報交換しながら、楽しく生き物を捕まえることができた。 (仮説1・手立て①)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: 100px;"> <p>何がつかまえられる かな。</p> </div>  <p>◎生き物や生き物がいる場所に合った採集方法を工夫している。 (思考・判断・表現)【行動・発言】</p> <p>◎生き物が捕まえられなくても、上手な友達や先生に聞くなどして、粘り強く採集しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度) 【行動・発言】</p>

生きもののすみかやえさをしらべて、せわをしよう

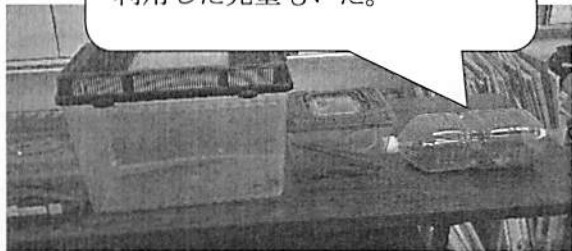
2

- ・生き物の飼い方について調べたり、話し合ったりして準備をする。
- ・生き物のすみかを作って、大事に育てる。
- ・生き物が成長する様子を継続的に観察し、写真や動画に記録していく。

虫かごは一人ずつ準備した。一人一人が生き物を継続して飼育できるように、支援した。



虫かごとして、ペットボトルを利用した児童もいた。



しゃしんをとったよ。
大きくして見てみよう。

☆生き物のすみかやエサを調べて用意し、飼育活動を開始した。わからない時は、友達に聞いたり、図書室の本で調べたりするように助言した。友達と情報交換しながら活動ができた。 (仮説1・手立て①)

☆生き物の様子をタブレット型PCを使って写真や動画に撮るようにした。発見カードを書いたり、発表したりする時に活用できた。

(仮説2・手立て①)



バッタのえさをしらべよう。どの本にのっているかな。

◎生き物が住んでいた環境を考えて、すみかを作っている。

(思考・判断・表現)【行動・記録】

◎生き物の様子に関心をもって、毎日えさやすみかの掃除などの世話をしようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

【行動・記録】

◎生き物に合った世話をすることのできる自分の成長に気付いている。

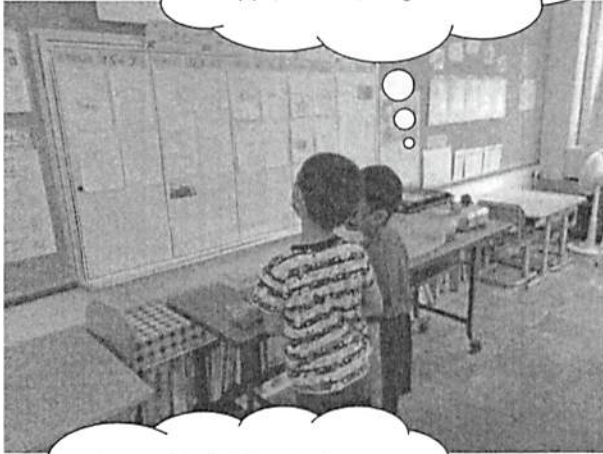
(知識・技能)【行動・記録】

「生きもののひみつ」を見つけて、はっぴょうしよう

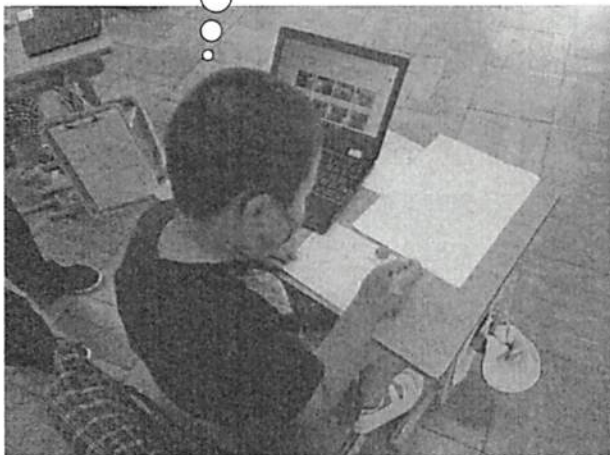
5

- ・観察したり、調べたりして発見したことをカードに書く。
- ・発見カードを「はっけんじょうほうコーナー」に掲示する。
- ・「生き物のひみつ」を友達に紹介する方法を考えて準備する。
- ・「生き物のひみつ」発表会を行い、感想カードを書く。

〇〇さんの絵がよく
書けているね。



しゃしんを見てかん
そうを書こう。



☆「発見カード」は3種類用意し、自分が書きたいことに合わせたカードを選べるようにした。発見したことを意欲的に書く姿が見られた。

(仮説1・手立て②)

(仮説2・手立て②)

☆調べたことや発見したことをもとに、友達に発表する準備をした。発表する時に、自分たちが撮った写真や動画も活用できるようにした。

(仮説2・手立て①)

生き物のひみつを3つ
見つけました。



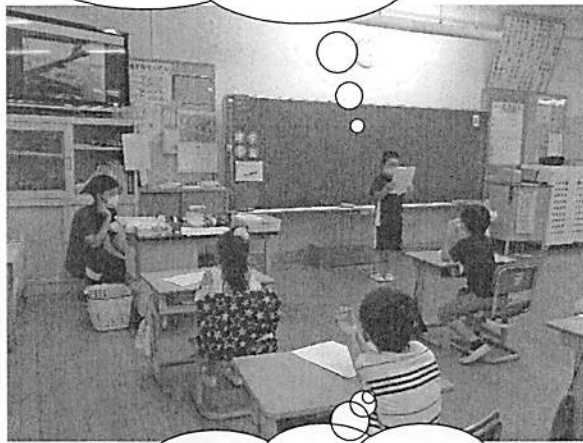
どう画を見て
ください。



どう画を見てよくわか
ったよ。かんそうをは
っぴょうしよう。

- ・1年生に「生き物のひみつ」を紹介する。
- ・合同学習会で、「生き物のひみつ」を伝え合い、交流する。

生き物クイズを出します。水から出てきたヤゴは、何時間くらいでトンボになるでしょう。



ヤゴのぬけがらだ。しゃしんで見るとよくわかるね。



ダンゴムシは、だっぴする前にすこし白くなります。

☆1年生や本校の友達に「生きもののひみつ」を発表する場を設定した。相手意識を持ってわかりやすく伝えることができるように助言した。発表し合い、感想を伝え合うことから、いろいろな気づきがあった。

(仮説1・手立て①)

クワガタのアゴがすごいと思いました。



◎世話をしている生き物の特徴、変化、成長の様子から生命をもっていることに気付いている。 (知識・技能)【発言・記録】

◎飼育活動を通して、発見したことを工夫して伝えようとしている。

(思考・判断・表現)【発言・記録】

(6) 児童の変容

<C児> 振り返りカード

月/日	学しゅうのめあて		ふりかえり	先生から
6/17	生きものさがしのけい画を立て、生きものをつかまえに行こう。	☆ ☆ ☆	かえるがめったにいな いからうれしか。ば。ごは んとかまだわからないからしんぼ	かこはって しらべようね。
6/21	生きものすみかやえさをしらべて、かってみよう。	☆ ☆ ☆	エサはうごはのなりたてる、 てわかったしすみかは、あた しがからてるカエルに水か	ちんとわかって きましたね。 すきしないうてわかつた
6/23	生きもの世話をして気がついたことをカードに書こう。	☆ ☆ ☆	いろいろまだわかってないから そなたにかけなからたけい けいしからたててお	たのびできて よかったです。 カードをかきおぼて かいてみましたね
6/24	しらべたりかんさつしたりしたことから、生きものひみつを見つけよう。	☆ ☆ ☆	カードにおもしろいことを かきました。くびをひくひ くしてるのかーはひももしろい	すごい! おも(う)いと をみつけましたね。
6/28	「生きものひみつ」をはっぴようするじゆんぴをしよう。	☆ ☆ ☆	はっぴようのじゆんぴがいで きたってこいは、ほかせに なうてきた。かもしれないうて	どんどん、生き ものことが わかってきたよ。 すばらしい!!
6/29	「生きものひみつ」はっぴよう会をして、生きものにくわしくなろう。	☆☆ ☆☆ ☆☆	みんなの生きものひみつ つがわかったのたのし かったです。	いろいろなひみ つがあったね。 たのびできてよ かったですね。
7/1	「生きものひみつ」を1年生にはっぴようしよう。	☆ ☆ ☆	1年生がしつもんしてくれ たからうれしかったです。 みんなのはっぴようの音が	2回めのはっぴ よう。前よりお上 げなすきだね。 よかったよ
7/9	合どう学しゅう会で、「生きものひみつ」をつたえあおう。	☆ ☆ ☆	おなじ生きものひみつ ちがうことを書いてたから すきだなと思いました。	おなじ生きもの あたりいほっ けんができましたね。

C児は、カエルを捕まえて飼育活動に取り組んだ。初めはエサがわからず困っていたが、友達に聞いたり調べたりして世話に取り組み、よく観察していた。写真や動画にも撮ったりして、カエルのおもしろいところや不思議なことなどを発見して、発見カードに書いたり、発表したりすることができた。発見が増えるにつれ、意欲が上がってきた。発表会を行うことで、友達が調べた生き物のひみつに気付き、同じ生き物についての新たなひみつにも気付いていた。

7 成果と課題

<仮説1>

人とかかわりの場を設定し、多様な方法で表現し合うことができれば、互いの考えの良さを認め合いながら活動ができるだろう。

<成果>

- 現在は、感染防止対策を行いながらの交流ではあるが、相手意識をもつことにより、「楽しんでもらえるようにしよう」「わかりやすく伝えよう」という目的ができ、進んで活動に取り組むことができた。お互いの良いところを認め合いながら活動ができ、気づきに繋がった。
- 表現することが苦手な児童にとっては、いろいろな表現方法を提示し、自分のできる方法で表現できるようにしたのは、良かった。また、経験を重ねることにより、進んで表現しようという意欲が見られるようになった。自分の言葉で表現することで、気づきの質を高めることができた。
- 学習計画を入れて振り返りカードを作成したのは、児童が見通しをもって活動できて良かった。単元を通しての児童の活動の姿を評価することもできた。自分たちの活動を振り返り、認め合うことを通して、自分たちの成長に気付くことができた。

<課題>

- 少人数での活動では、伝え合うことや深め合うことに限界がある。気づきをさらに高められるような学習の進め方や交流の在り方を考えていくことが必要である。
- 自分の考えを表現するだけでなく、友達の考えを聞き、広げたり深めたりできるようなコミュニケーション能力の育成が課題である。

<仮説2>

ICT機器や教材を工夫して活用すれば、児童が自ら考えて活動することができ、気づきの質を高めることができるだろう。

<成果>

- ICT機器を使って、写真や画像に撮ることにより、確かめや振り返りに活用することができた。拡大したり、画像を再生したりすることで、新しい発見をすることもできた。画像を共有して友達の撮った画像も見られるようにしたことで、友達の活動の様子を知ったり、情報交換をしたりしながら活動することができた。
- 伝えたいことを録画することは、やり直しができるのが良かった。できることから取り組むことで、少しずつ自信に繋がった。リモートでの学習は緊張感もあったが、相手にどんなことを伝えたいかを考えて、楽しく活動することができた。
- 秋の素材や活動で使う用具、学習カードなど、児童が選んで使用できるようにした。児童の興味・関心や実態に合わせた教材を使うことで、表現する意欲に繋がり、活動したことや発見したことを伝え合うことで、気づきの質を高めることができた。

<課題>

- ICT機器は、授業のねらいを明確にして効果的な活用を考えることが大事である。ICT機器の活用法については、教師側の研修を重ねていく必要がある。